



季刊

# じねん

2017. 7. 1  
中央仏教学院  
通信教育同窓会  
大分支部  
NO. 104

和讃 575

二菩薩の慈光  
うれしや秋の風

竹田市 吉岡 雄三

観音・勢至もろとも  
に慈光世界を照曜し  
有縁を度して  
しばらくも  
休息あること  
なかりけり  
(浄土和讃 19)

(意識)  
観音菩薩と勢至菩薩は  
ともに、慈悲の光で全  
宇宙を照らし、すべ  
てのものを救ってくだ  
さいます。  
その慈悲の働きは一時  
も休むことはありません  
この和讃は、ひまなく  
衆生と救済する二菩薩  
を讃嘆しています。  
内容ですが、観音、勢  
至の慈悲の光はすべて

の世界を照らしてくだ  
さっています。  
「有縁を度してしばらくも」とあります。  
「有縁」とは「仏道に  
入る縁のあるもの」  
又は「自分と縁のある  
もの」という意味です  
ので、「この世に生を  
受けたすべてのもの」  
ということですが、  
次に「度」ですが、  
「度」とは「渡る」と  
同じ意味だと思えます。  
「渡る」は「迷い」の  
世界を渡って「お浄土  
に往生する」というこ  
とで「救われる」とい  
うことですので  
「渡」も同じく「救わ  
れる」ということです。  
「得度」とか「度脱」  
と言う語もあります。  
ですから二菩薩のすべ  
てのものを救済しよう  
とする慈悲の働きは、  
すこしも休むことなく  
私達の上を照らしてく  
ださっているのと歌われ  
ています。

さて「観音菩薩」に  
ついてですが正しく  
は「観世音」で世間  
の人々の苦しみの声  
に耳を傾けられて「救  
いの手をのびしてくだ  
さる菩薩です。  
阿彌陀仏の慈悲の徳を  
表わすとされています。  
私も子どもの頃、母か  
ら「観音様は、いつも  
私達のことを考えてく  
ださる有難い仏様です  
よ」と聞かされていま  
した。  
母子観音に見るよう  
に「子を思うやさしいお  
母さん」というイメージ  
です。島倉千代子の  
歌に「東京だよお母さ  
ん」があります。お母  
さんが、浅草の観音様  
がでてきます。  
親しみをこめて聞いて  
おりました。  
次に「勢至菩薩」です。  
「勢至」と言う名前の  
とおり、智慧の勢いが  
あらゆるところに至る  
というように智慧の光  
を表わす菩薩です。  
阿彌陀様の智慧の働き  
をあらわす菩薩です。  
「浄土和讃」の中で勢

至菩薩のことをよんだ  
和讃が8首ありますが、  
その1首に  
念仏の人を撰取して  
浄土に帰せしむるな  
り  
大勢至菩薩の  
大慈深く報ずべし  
と勢至菩薩の恩恵に感  
謝しましょうと歌って  
います。  
浄土真宗は阿彌陀一仏  
ですが、親鸞聖人は観  
音・勢至の二菩薩を敬  
い、大切にされていた  
様子が、この和讃から  
うかがえます。  
おわり



お誘い

ひと月1回聞思会の  
あと(別府別院の3階)  
午後1時〜3時まで  
是非、是非、一度  
覗いて見て下さい

## ◎ 一日研修会のご案内について ◎

平成二十九年の一日研修会を左記の通り開催致します。  
会員多数のご参加をお願い致します。なお、今年度の会処は  
昨年計画して台風により延期した西蓮寺様です

記

- 一、日時 平成二十九年九月十日(日) 十五時 現地集合
- 二、会処 岡組 白岩山 西蓮寺
- 三、住所 豊後大野市朝地町朝地1095  
電話番号 0974-7210073

四、交通アクセス  
マイカーで大分方面から国道十号線を佐伯・宮崎方面に走り、  
犬飼より中九州道路に入り終点の朝地インターで降り、国道57  
号線交差点を左折し竹田方向に走ると直ぐに道の駅あさじを左手  
に見て2km走ると橋があり、信号機付きの三叉路交差点を右折  
して、神角寺・野津原方向に300m進むと頭上に直入方向の案  
内標識に従って左折する。500m進むと左手に西蓮寺の掲示板  
と案内標識に従って左折して登坂を直進すると右手に西蓮寺の建  
物と駐車場があります

- 五、申し込み締め切り 平成二十九年八月二十五日(金) 厳守
- 六、申し込み先 岩崎 俊孝  
電話・FAX 097-527-3455
- 七、会費 2千円は当日徴収致します。

## このお粗末な私と 頭が下がる

聞法を始めて4年経ち  
ました。めざめ、歓喜、  
感謝はまだまだです。  
それで、細川巖先生  
講述の  
教行信証教巻講義1を  
ポツリポツリ読んでい  
ます。298ページく  
299ページ  
人間は頭を下げるとい  
うことが出来ない。  
傲慢さというか頭を下  
げようと思ってもな  
なか下がらぬものでは  
ない。どうしたら下がる  
かという、如来来たつ  
て私に生きるしかない  
のである。そうしたら  
徹底的に頭が下がるの  
です。そういう所が如  
来の廻向と云うのであ  
る。頭を下げるという  
ことだけに南無阿彌陀  
ばの中は礼拝というも  
のがはいつているので  
ある。それが届くから  
私にも礼拝ができるの  
である。  
それではその如来が私  
に届くにはどうしたら

よいか?  
それは「諸有衆生・聞  
其名号・信心歓喜」と  
いう十八願成就するこ  
とが大事である。  
一八願成就とはどうい  
うことかと云えば、  
諸有衆生、私がお粗末  
なものであるという事  
が本当に分かることで  
ある。そこに大きなキ  
ポイントがある。  
それはどうしたらわか  
るのか?と云ういうよ  
うになるのが奥を深く  
突き詰めていくという。  
それはどうしてという  
ことはならない。我々  
はどうかしたら諸有衆  
生と目覚めると思う。  
我々は何か、どうかし  
たらなるだろうと思  
うが我々の力ではなら  
ないのである。  
ただいいうならば、よ  
き人の教えを聞き開く  
かない。そうすると如  
来のはたらきによつて  
諸有衆生と分かるよう  
になるのである。そう  
して頭が下がるように  
なるのである。  
歳はいくのに、道遠し...  
大分市森町 渡辺

# 大見出しを入力します

## 小見出しを入力します

白抜き2行の  
見出しです



絵解き (キャプション)



絵解き (キャプション)

白抜きの見出しです

この枠は2行  
入力できます

この枠は2行  
入力できます